

令和7年度 第2回 大阪府医師会 JMAT 研修基本編 実施要領

目 的：災害医療体制の確保・充実に向けて、JMAT（日本医師会災害医療チーム）活動への理解を促進し、災害時の支援活動を一体的・組織的に図るため、実習を交えた研修会を開催する

日 時：令和8年2月8日(日) 9:00～17:30 集合形式で開催、事前学習あり

会 場：大阪府医師会館 4階大会議室

主 催：大阪府医師会（大阪府委託・災害医療体制確保充実事業）

対 象：会員医療機関の医療従事者（災害医療に関心のある方）

※定員 24 名（受講の可否は、後日連絡）

その他：①当日はスマートフォンまたはタブレットを利用して実習

（端末及び回線は参加者自身でご用意）

②事前に e ラーニングによる学習が必要

③日本医師会生涯教育制度 大阪府医師会認定講座

④参加費は無料

⑤第1回開催（令和7年8月31日）分と研修内容は同じ

申込み：右記 QR コードより応募（締切 12 月 25 日（木））<https://forms.gle/NEgCQnvimRVJxjoA8>

（第2回申込）



事前学習（講義・確認テスト）

※内容は当日までに変更の可能性があります

日医 JMAT 研修 e ラーニングシステム“JMAT-e”による事前学習

実地開催（講義・実習）

1. 災害医療概論

大阪急性期・総合医療センター 藤 見 聡

2. JMAT 総論

大阪府医師会 鎌 方 安行

医師会と災害医療

災害対策本部（中央、圏域、地区）

大災害時の患者像（過去の実例）

JMAT とは（災対本部図解、理念・役割、基本方針）

JMAT 派遣の段取り（要請なき JMAT、構成、資器材）

被災地 JMAT の動き（地域防災計画、支援）

支援 JMAT の動き（被災地コーディネート機能）

3. CSCA（TTT）

大阪急性期・総合医療センター 仲 樹 哲

4. 被災地 JMAT の活動

大阪急性期・総合医療センター 仲 樹 哲

5. 情報の共有、クロノロジーの重要性

大阪急性期・総合医療センター 西 健 太

6. 災害時の通信について

大阪急性期・総合医療センター 西 健 太

7. TTT の概念

大阪急性期・総合医療センター 藤 見 聡

8. トリアージ実習、病院と医療救護所の関係、重症患者のフロー

大阪急性期・総合医療センター 藤 見 聡

9. 支援（被災地支援を考える）

厚生労働省 DMAT 事務局 松田 宏樹

10. JSPEED 実習、情報の発信：JMAT 活動報告、被災地からの各種情報提供

広島大学大学院医系科学研究科 田 治 明宏

11. 支援 JMAT～被災地における医療支援

厚生労働省 DMAT 事務局 松田 宏樹

（1）発災から JMAT 派遣決定、現地到着まで

（2）派遣先被災地での活動（ニーズ、医療支援）

（3）避難所などでの多様な活動（引き継ぎ、撤収を含む）

12. ターニケット装着実習、救急蘇生など

大阪急性期・総合医療センター 藤 見 聡

13. 災害非常食について